**地域密着型サービス運営推進会議記録（第3回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | 社会福祉法人愛心会　花宝 | |
| 施設種類 | 地域密着型特別養護老人ホーム | |
| 開催日時 | 平成30年　　10月2日　　　10時　45分　～11時30分 | |
| 会場 | 地域交流室　花笑 | |
| 参加者 | 利用者代表 | 0人 |
| 利用者家族代表 | 0人 |
| 地域住民代表 | 3人 |
| 有識者 | 0人 |
| 高齢者お世話センター | 2人 |
| 市職員 | 1人 |
| 事業者 | 1人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 現在の利用状況、事例　資料  現在の利用状況について  ≪現在の利用状況報告≫  現在の入居者情報は、2つのユニットの人数を合計しまして19名となっております。2ユニットの定員が満員です。入居者の申込が１０名出ており、待たせてしまっている状態です。なんとか年内に３ユニット目が開けないかを検討しています。  ≪入居者様の詳細内訳≫  ７６歳～８０歳が１名、８１歳～８５歳が５名、  ８６歳～９０歳が一番多い９名、９１歳～９５歳が４名です。  要介護度では介護度３が８名、介護度４が６名、介護度５が５名です。  女性は１３名、男性は６名で、前回の推進会議以降、男性の入居者様が１名増えています。  入居前の所在についてですが、主に病院や、フラワーのショートステイ、自宅にいた方々が多いです。  入居者の中には体調の安定しない方がおり、特に多いのが発熱です。  そういった面では病院と連携を密にしつつ、早めの対応を出来るようにしております。  ≪退去理由≫  ７月～８月にかけて、２名の方の入れ替わりがありました。  一人は日頃から落ち着きが無く、認知症が進んでいるためか夜間の認知症対応が困難になってきていました。  もう一人は体調の悪化による入院で、退去までの１週間は食事の量が目に見えて減っており、入居前の病院に戻られました。  ≪開所から６ヶ月経っての現在の当施設の課題≫  ひとつは人員不足による３ユニット目の受け入れ不可です。  現在は入居者１９名に対して１名の夜勤者と、１名の宿直がいます。  まだ稼動していない３ユニット目の受け入れには、夜勤が合計で２名必要となっており、その夜勤可能な職員が不足している状況です。  ふたつめは災害発生時の対応です。  台風２１号の被害が出ており、フラワー、花宝の看板が破損、飛散し、停電の発生から、水漏れ、屋上にある機械類の散乱等がありました。  地震・津波発生時への備えの確認や、地域に対しての防災上の役割として、あくまで、花宝は一時的な避難場所であるということの情報を伝えていくようにしています。  そして、継続課題として入居者様の体調管理です。  多様な原因によって起こる体調不良、病院受診への対応があります。  症状としては、発熱、食欲不振、尿閉、皮膚疾患、嘔吐下痢などです。  ≪地域密着型施設として行えていること≫  入居者様、家族の希望に沿った柔軟な病院受診の支援。専門医による受診の継続、入院先の選択などがあります。  外出や、ちょっとしたイベントの実施を行い、基本的に近くのお店への日用品の買物、お菓子作り、習慣としての散歩等があります。  そしてご家族様と連携をするためにも、面会のしやすい施設を目指し、健康面での密な報告のやりとりを心がけております。  毎月、入居者様の写真と共に施設便りをお渡しし、各計画の書類の交付・説明機会を多くするようにしています。  ２度の台風で学んだことを教訓として、今後に備えていくつかの対策を職員間で検討し、堅実な対応を心掛けて参ります。  ３ユニット目をなるべく早く開けるように考えておりますので、どうか宜しくお願い申し上げます。 |
| 議題 |